

2019年2月15日発行(18-2号)

一般社団法人日本社会福祉学会

中国・四国地域ブロック会報

発行者: 中国・四国地域ブロック担当理事
杉山博昭(ノートルダム清心女子大学)

広報担当: 片岡信之(四国学院大学)
加川充浩(島根大学)
松井圭三(中国短期大学)

事務局: 新見公立大学・短期大学 山本浩史
岡山県新見市西方 1263 番地 2

ホームページ: http://www.jssw.jp/district/chu_sikoku.html

目次

- I. 巻頭言—社会福祉学会の大会参加へのお誘い
- II. 中国・四国地域ブロック 第51回 高知大会について
- III. 中国・四国地域ブロック 特定課題研究会のご案内
- IV. 機関誌投稿原稿募集のお知らせ

I. 巻頭言—社会福祉学会の大会参加へのお誘い

大学全入時代を迎え、定員充足は全国的な課題だが、特に地方の福祉系大学の落ち込みは著しく死活問題である。入学者数は学校経営に大きな影響を与えるのだから、教職員一丸となつての学生確保は重要な業務となっている。

その一環として、講義の合間を縫って高校を訪問し、休日返上でオープンキャンパスを何度も開催するなどしているようだが、特に目立った効果を聞くことはない。会えば志願者状況の厳しさを語り、慰め合うのが常である。とは言いつつ、限られた受験生を奪い合っているのだから、起死回生の方策を見つけて息を吹き返しても、手の内を明かすようなことはしないだろう。そういう意味で福祉系の学校は、生き残りをかけた戦国時代の真っ只中にある、といつても過言ではない。

それでも、高い志を持って社会福祉学を選択する高校生がいるのだから、今こそ福祉系学校全体が一致団結して教育体制を充実し、学生一人一人の満足度を高める努力をすべきときではないだろうか。学生募集に奔走しなければならないのが現実だとしても、われわれ教育者が自己の能力を高める歩みを止めることは許されない。そのために、日本社会福祉学会の活用、特に大会に参加するのは一つの手であろう。

学会は、春と秋に全国大会を開催している。特に秋の大会は、口頭発表など自らの研究成

果を報告する絶好の機会であり、多くの研究者から刺激を受けることができる。さらに質疑応答や懇親会などでの対話を通して新知見を得ることができ、さらには論文としてまとめる足がかりになる。また部会大会は、全国大会よりも深い関係を築けると同時に、地域独自の福祉問題を共有する機会でもあり、部会として取り組むことで、われわれ研究者の知を社会へと還元するという使命を果たすことにつながる。これらの活動を通して学会がもつ機能を十二分に活用すれば、社会福祉学の裾野が広がり、社会的認知が高まることになる。このことが結果的に、福祉教育の充実と人材確保へと至るであろう。

オープンキャンパスと重なり、学会への参加も難しくなっているのは事実であるが、所属教員との調整をするなど工夫をすれば、決して難しいことではない。

日本の社会福祉を担う人材の確保に向け、また福祉教育の充実と研究水準を向上するためにも、学会の大会に参加してはどうだろうか。

(吉備国際大学 岡崎幸友)

Ⅱ. 中国・四国地域ブロック 第51回 高知大会について

「中国四国地域ブロック 第51回高知大会」を、下記の通り開催予定です。皆さま、ぜひご参加下さい。

(1) 日時・会場

*日時：2019年7月13日(土) 9:30~16:00

*会場：高知県立大学 池キャンパス

(2) 基調講演・シンポジウムのメインテーマ

「中国・四国地方での福祉人材確保 ―日本人の就労と外国人の受け入れ―」

(3) 基調講演の講演者

*岡崎仁史 氏(広島国際大学名誉教授)

(4) シンポジスト

*河内康文 氏(高知県立大学講師)「外国人受け入れと大学教育」

*学外からのシンポジスト2名「現場からの報告」

(1名は高知県内の関係者、もう1名は高知県外の社会福祉法人と交渉中)

*アドバイザー：岡崎仁史 氏(広島国際大学名誉教授)

(5) スケジュール (予定)

8:50~9:30	受付
9:30~9:40	開会式 挨拶: 大会長・担当理事 (杉山 博昭)
10:00~11:40	自由研究発表
11:40~12:30	休憩 (弁当の販売などは、土曜日だが生協を開けてもらう予定) 中国・四国地域ブロック総会 (会員のみ)
12:30~13:30	基調講演 講師: 岡崎仁史 氏
13:30~13:45	休憩
13:45~15:45	シンポジウム: シンポジスト・コーディネーター (未定)
15:45~16:00	閉会式 挨拶 実行委員長: 杉原 俊二 次回担当校: 川崎医療福祉大学の担当者
16:30~18:30	懇親会 (学外の居酒屋などを検討)

※土曜日のバス

*高知駅前 → 池キャンパス行き ①7:35→8:03、②8:25→8:56

* (帰り) 池キャンパス発 ①13:20、②14:50、③15:57、④17:10、⑤18:10、⑥19:18 (最終)

(高知県立大学 杉原俊二)

Ⅲ. 中国・四国地域ブロック 特定課題研究会のご案内

[本研究会につきましては、先日 1 月 11 日に、別途メールにてご案内を差し上げたところですが、その後、報告者が新たに決定しましたので、追加情報としてお届けします。]

本学会中国・四国地域ブロックは、ここ数年間特定課題研究として少子・高齢化、人口減少地域の福祉課題をテーマとし、本ブロック編（2018）「中四国発！ 地域共生社会づくりの課題と展望－中国・四国社会福祉論文集－」にまとめました。それに続き、次のとおり研究会を開催しますので、多数ご参加くださるようご案内致します。

1. テーマ

「中国四国地方での福祉人材確保問題 日本人の就労状況と外国人の受入れの課題」

2. 趣旨

福祉・介護・保育（以下、福祉）の人材確保問題の所在は、既に明らかになっているように、賃金等の労働条件、および賃金財源である介護報酬、障害者サービス報酬等の低さ、並びに報酬体系に国家資格が十分活かされていない専門職制度の不備にあり、少しずつ改善されています。しかし、事業所の低い賃金等が若者を福祉系大学等から敬遠させる要因になっています。

現在では新・福祉人材確保指針（2007年）の時の状況とは違い、日本の少子化対策の遅れのつけがきています。既に人口減少社会に移行し労働力人口は減少しています。国内の労働者は高い賃金を提示する産業領域に異動し、その結果、福祉、建設、農業、漁業、飲食サービス業等の領域では人材確保困難が起きています。そのため、福祉人材確保策については、少子化対策のみならず、即効性を求めて EPA・技能実習生制度を加え、本格的な外国人介護従事者の導入という政治判断がなされました。2018年11月に入管法が改正され、2019年4月に改正入管法の施行が予定されています。

本ブロックは、中山間・島しょ部地域を抱え、人口減少の進む地域であり、福祉人材の確保がままなりません。既に高齢・障害者福祉領域では、国内の人材を確保しつつ、中長期的取組みとして外国人材確保が進んでいます。幾つかの社会福祉法人は、単独で国策に先んじて外国人の受入と教育支援を行っており、人材募集、日本語・文化の学習支援、福祉教育を行い、費用面において苦勞しています。

本学会中国・四国ブロックも、研究の面からそのような状況を受け止めて、貢献したいと願い、研究会を開催します。

3. 主催 日本社会福祉学会中国・四国地区ブロック（担当理事 杉山博昭）

4. 日時 2019年3月9日（土）13:00～15:30

5. 場所 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館（きらめきプラザ） 703 会議室
岡山市北区南方 2 丁目 13-1（地図参照） TEL.086-227-2666

6. 問い合わせ先

杉山博昭（ノートルダム清心女子大学）

〒090-9417-1594 Mail : sugiyama@post.ndsu.ac.jp

7. 内容

(1) 報告①「社会福祉法人の人材確保の状況と取組みの課題」

* 報告者：福原文徳 氏（社会福祉法人 日本原荘 理事長、岡山県社会福祉法人経営者協議会）

* 福祉人材確保の状況と新しい取組みについて報告をお聞きします。

(2) 報告②「広島県の社会福祉法人の福祉人材確保方策の現状と課題－国内の人材確保と外国人材確保」

* 報告者：岡崎仁史 氏（広島国際大学名誉教授、広島県社会福祉法人経営者協議会調査研究部会）

* 2018年度の広島県経営協の行った調査研究結果をお聞きします。

(3) 報告③「アジア介護・福祉教育研修センターから見える、アジア諸国の介護問題と福祉政策の動向」

* 報告者：久保田トミ子 氏（広島国際大学医療福祉学部長、アジア介護福祉教育研修センター長）

* 同大学では2017年度に上記センターを設置し、国内の介護施設の外国人従事者の研修支援を行い、また中国、台湾、インドネシア、インド等の大学、インドネシアの政府関係者等との交流を始めています。アジア諸国においても経済社会変動により高齢者介護等が政策課題になりつつあり、その動向や国際協力等の報告をお聞きします。

(4) 全体協議

各報告に基づいて全体協議を行います。

8. 参加費・参加申込

参加費は無料です。参加申込は不要です。

きらめきプラザへのアクセス。JR 岡山駅から徒歩15分 (<http://www.kirameki-plz.com/>)



IV. 機関誌投稿原稿募集のお知らせ

日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック機関誌
「中国・四国社会福祉研究」第8号
投稿原稿募集

中国・四国地域ブロック機関誌（査読あり）の第8号を発行する運びとなりました。中国四国地方ならではの社会福祉の諸課題、社会福祉の実践活動を全国に発信していきたいと考えています。会員諸氏の積極的な投稿をお待ちしています。

投 稿 要 領 等

【執筆要領】 日本社会福祉学会機関誌『社会福祉学』の執筆要領に準じます。
・チェックリスト提出 ・図表含めて20,000字以内（A4 40字×40行 ワード作成）・3部提出 など
※投稿要領等の詳細は一般社団法人日本社会福祉学会HPの【投稿要領・執筆要領】のページをご覧ください。
<http://www.jssw.jp/journal/rules.html>

【原稿の種類】 「論文・実践報告・資料解題・調査報告」の中から選択して投稿可能です。

【原稿締切】 2019年11月29日(金)

積極的なご投稿をお待ちしております。

【原稿送付先】 〒799-2496 愛媛県松山市北条660 高杉公人研究室
中国・四国地域ブロック機関誌編集委員会 事務局宛

その他、ご不明な点は本機関誌編集委員会まで、お問い合わせ下さい。なるべくメールでお問い合わせください。

編集委員会事務局 原稿送付先と同様
Tel: 089-993-0702 (呼出)
e-mail: kimiruhito@catherine.ac.jp